

近畿厚生局長 殿

学校法人兵庫医科大学  
理事長 新家 莊平



兵庫医科大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3の規定に基づき、平成24年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	163.9人
--------	--------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法  
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績  
→ 別紙参照(様式第13)

7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非 常 勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	601人	189人	644.8人	看護補助者	140人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	17人	9人	21.3人	理学療法士	26人	臨床検査技師	98人
薬剤師	73人	2人	73.6人	作業療法士	12人	臨床衛生検査技師	1人
保健師	0人	0人	0.0人	視能訓練士	10人	その他	0人
助産師	36人	1人	36.8人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧	0人
看護師	901人	18人	911.5人	臨床工学技士	17人	医療社会事業従事者	9人
准看護師	3人	0人	3.0人	栄養士	0人	その他の技術員	20人
歯科衛生士	5人	0人	5.0人	歯科技工士	3人	事務職員	232人
管理栄養士	11人	1人	11.4人	診療放射線技師	50人	その他の職員	38人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯 科 等 以 外	歯 科 等	合 計
1日当たり平均入院患者数	738.9人	7.2人	746.1人
1日当たり平均外来患者数	2,312.9人	97.4人	2,410.3人
1日当たり平均調剤数	1,027.00剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者数延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。





(様式第10)

## 高度の医療の提供の実績

### 3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

## 高度の医療の提供の実績

## 4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	77	・膿疱性乾癬	10
・多発性硬化症	78	・広範脊柱管狭窄症	79
・重症筋無力症	119	・原発性胆汁性肝硬変	37
・全身性エリテマトーデス	362	・重症急性膵炎	7
・スモン	4	・特発性大腿骨頭壊死症	33
・再生不良性貧血	62	・混合性結合組織病	51
・サルコイドーシス	46	・原発性免疫不全症候群	7
・筋萎縮性側索硬化症	20	・特発性間質性肺炎	7
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	248	・網膜色素変性症	29
・特発性血小板減少性紫斑病	84	・プリオン病	1
・結節性動脈周囲炎	37	・肺動脈性肺高血圧症	1
・潰瘍性大腸炎	1,183	・神経線維腫症	10
・大動脈炎症候群	23	・亜急性硬化性全脳炎	0
・ビュルガー病	9	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	3
・天疱瘡	14	・慢性血栓性肺高血圧症	1
・脊髄小脳変性症	52	・ライソゾーム病	3
・クローン病	889	・副腎白質ジストロフィー	0
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	0	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	1
・悪性関節リウマチ	31	・脊髄性筋萎縮症	2
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	184	・球脊髄性筋萎縮症	4
・アミロイドーシス	8	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	27
・後縦靭帯骨化症	69	・肥大型心筋症	5
・ハンチントン病	1	・拘束型心筋症	0
・モヤモヤ病(ウリス動脈輪閉塞症)	17	・ミトコンドリア病	1
・ウェゲナー肉芽腫症	14	・リンパ管筋腫症(LAM)	3
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	67	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	25	・黄色靭帯骨化症	3
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	3	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	108
	27		3,726
			24

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

433  
4,159



## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

### 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
甲状腺眼症の病態解明と新規治療法の確立	三村 治	眼科	2,600,000	補委 日本学術振興会
高度侵襲下のインスリン抵抗性に関するIL-18の影響と雌雄差の検討	小谷 穰治	救命救急センター	1,820,000	補委 日本学術振興会
エンドトキシン血症肺毛細血管モデルにおけるヒスタミン受容体発現と血管透過性の関係	尾迫 貴章	救命救急センター	2,210,000	補委 日本学術振興会
レーザー光による骨切り後の骨癒合の研究	曾束 洋平	形成外科	1,820,000	補委 日本学術振興会
酸化ストレスが創傷治癒、肥厚性瘢痕形成に与える影響について	藤田 和敏	形成外科	2,210,000	補委 日本学術振興会
機械的伸展刺激が肥厚性瘢痕・ケロイドを発生させるメカニズムの解明	石瀬 久子	形成外科	3,380,000	補委 日本学術振興会
骨髄間葉系幹細胞は組織腸管上皮幹細胞を支配するのか	野瀬 聡子	外科 小児外科	1,690,000	補委 日本学術振興会
原発性肺癌における末梢血循環腫瘍細胞は造腫瘍能を持つのか？	米田 和恵	呼吸器外科	600,000	補委 日本学術振興会
大腸癌肺転移切除例における末梢血液中循環腫瘍細胞および内皮細胞の臨床的意義の検討	橋本 昌樹	呼吸器外科	1,040,000	補委 日本学術振興会
悪性胸膜中皮腫における抗IL-6受容体抗体療法の開発	松本 成司	呼吸器外科	1,300,000	補委 日本学術振興会
悪性胸膜中皮腫における末梢血液中バイオマーカーの開発	長谷川 誠紀	呼吸器外科	650,000	補委 日本学術振興会
骨肉腫の化学療法と免疫療法の有効性向上に関する研究	麴谷 博之	整形外科	1,430,000	補委 日本学術振興会
ヒト白血球抗原半合致移植の成立機序の解析	小川 啓恭	内科 血液内科	2,080,000	補委 日本学術振興会
乳児排尿測定装置の開発	兼松 明弘	泌尿器科	1,560,000	補委 日本学術振興会
サーモグラフィを手法とした感染制御のための発熱判定ガイドラインの構築	夏秋 優	皮膚科	295,000	補委 日本学術振興会
魚鱗癬様紅皮症の病態に関する研究	山西 清文	皮膚科	1,690,000	補委 日本学術振興会
アレルギー性皮膚疾患におけるnuocyteの免疫学的解析	羽田 孝司	皮膚科	1,170,000	補委 日本学術振興会
東アジア共通性マダニが媒介する新興アナプラズマ症、紅斑熱群、ライム病の分子疫学	夏秋 優	皮膚科	260,000	補委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
I L-27による炎症性皮膚疾患の治療的役割の解析	今井 康友	皮膚科	2,080,000	補委 日本学術振興会
ハイリスク放射線治療患者での直腸粘膜障害の予防と治療一亜鉛製剤の設計と評価一	上紺屋 憲彦	放射線科	1,820,000	補委 日本学術振興会
胃静脈瘤に対するB-RTO後の肝機能改善のメカニズムの解明	廣田 省三	放射線科	910,000	補委 日本学術振興会
人工抗体を用いた滑膜増殖の制御	関口 昌弘	内科 リウマチ・ 膠原病科	1,820,000	補委 日本学術振興会
HGFディスプレイ乳酸菌によるGVHDの制御	佐野 統	内科 リウマチ・ 膠原病科	130,000	補委 日本学術振興会
関節リウマチの骨破壊に対するS1P/S1P1シグナルの役割	北野 将康	内科 リウマチ・ 膠原病科	1,820,000	補委 日本学術振興会
造血幹細胞移植後患者の筋有酸素能の評価	若杉 樹史	リハビリ テーション 部	700,000	補委 日本学術振興会
脳卒中片麻痺上肢集中訓練CI療法の神経基盤研究(拡散テンソル画像による)	道免 和久	リハビリ テーション 部	8,060,000	補委 日本学術振興会
在宅嚥下リハビリテーションのEBMの確立一高齢者の誤嚥性肺炎予防プログラムの構築	道免 和久	リハビリ テーション 部	91,000	補委 日本学術振興会
ミトコンドリア依存性抗がん剤耐性機構におけるグルココルチコイドの役割	久保 秀司	臨床遺伝部	260,000	補委 日本学術振興会
日本人悪性中皮腫に高頻度で見出された3p領域欠損の機能解析と診断への応用	玉置 知子	臨床遺伝部	2,470,000	補委 日本学術振興会
腫瘍溶解アデノウイルスを用いた悪性中皮腫に対する新規治療法の開発	久保 秀司	臨床遺伝部	1,430,000	補委 日本学術振興会
ヒトの舌知覚閾値測定	任 智美	耳鼻咽喉科	2,860,000	補委 日本学術振興会
DSM-5のチック関連性強迫性障害の妥当性、信頼性、臨床的有用性に関する検討	林田 和久	精神科 神経科	1,300,000	補委 日本学術振興会
強迫性障害の新規分類基準の生物学的妥当性、臨床的有用性に関する検討	松永 寿人	精神科 神経科	650,000	補委 日本学術振興会
造影超音波による進行肝癌に対する分子標的薬の早期効果判定法の開発	田中 弘教	超音波 センター	910,000	補委 日本学術振興会
切除可能悪性胸膜中皮腫に対する集学的治療法の確立に関する研究	中野 孝司	内科 呼吸器・ RCU科	19,000,000	補委 厚生労働省
治癒切除後の再発リスクが高い進行胃がん(スキルス胃がんなど)に対する標準的治療の確立に関する研究	笹子 三津留	外科 上部消化管 外科	25,500,000	補委 厚生労働省
灌流法により採取された骨髄細胞を用いた骨髄内骨髄移植療法:基礎から臨床へ	小川 啓恭	内科 血液内科	370,000	補委 厚生労働省

研 究 課 題 名	研究者氏名	所属部門	金 額	補助元又は委託元
HLA不適合血縁者間移植の安全性および有効性向上のための包括的研究	小川啓恭	内科 血液内科	700,000	補 委 厚生労働省
卵膜由来間葉系幹細胞を用いた難治性疾患に対する新規移植再生療法の開発	相馬俊裕	内科 血液内科	1,800,000	補 委 厚生労働省
造血幹細胞移植の有効性と安全性向上のための薬剤のエビデンスの確立に関する研究	池亀和博	内科 血液内科	500,000	補 委 厚生労働省
難治性炎症性腸管障害に関する調査研究	松本譽之	内科 下部消化管科	1,000,000	補 委 厚生労働省
難治性炎症性腸管障害に関する調査研究	中村志郎	内科 下部消化管科	500,000	補 委 厚生労働省
自己免疫疾患に関する調査研究	佐野統	内科 リウマチ・膠原病科	2,000,000	補 委 厚生労働省
視覚系の希少難治性疾患群に関する症例データベース構築	三村治	眼科	2,000,000	補 委 厚生労働省
胎児・新生児肺低形成の診断・治療実態に関する調査研究	奥山宏臣	外科 小児外科	650,000	補 委 厚生労働省
次世代型造血細胞療法の基盤整備	小川啓恭	内科 血液内科	5,500,000	補 委 文部科学省
分子プロファイリングによる新規標的の同定を通じた難治がん治療法開発」(悪性中皮腫のプロファイリングによる新規分子標的の同定)	中野孝司	内科 呼吸器・RCU科	10,500,000	補 委 文部科学省
悪性胸膜中皮腫に対する次世代治療戦略の構築	中野孝司	内科 呼吸器・RCU科	68,000,000	補 委 公益財団法人 武田科学振興財団
在宅嚥下リハビリテーションのEBMの確立—高齢者の誤嚥性肺炎予防プログラムの構築	芳川浩男	内科 神経・脳卒中科	91,000	補 委 日本学術振興会
筋強直性ジストロフィー症における中枢神経スプライシング異常の分子機序の解明	木村卓	内科 神経・脳卒中科	520,000	補 委 日本学術振興会
組織内微小環境因子を標的とした骨治癒促進効果	高岡一樹	歯科 口腔外科	1,560,000	補 委 日本学術振興会
癌幹細胞と微小環境(ニッチ)および間質線維芽細胞(CAF)の相互作用に関する研究	森寺邦康	歯科 口腔外科	1,430,000	補 委 日本学術振興会
口腔癌細胞におけるEMTマーカーとしてのZyxinの発現および機能について	瀬川英美	歯科 口腔外科	1,950,000	補 委 日本学術振興会
味や香りが異なる食品の咀嚼によって生じる脳および全身の変化についての検討	長谷川陽子	歯科 口腔外科	1,560,000	補 委 日本学術振興会
口腔がん幹細胞モデル細胞株の樹立とがん幹細胞を標的とした治療法の開発	頭司雄介	歯科 口腔外科	2,080,000	補 委 日本学術振興会
in vitro発がんモデルを用いた口腔がん発生機構の解析	野口一馬	歯科 口腔外科	1,170,000	補 委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
歯科介入型の新たな口腔管理法の開発及び介入効果の検証等に関する研究	岸本 裕充	歯科 口腔外科	200,000	補 委 厚生労働省
Plakin Family 蛋白発現制御による肝内胆管癌治療戦略	宇山 直樹	外科 肝・胆・膵 外科	1,950,000	補 委 日本学術振興会
外科手術による癒着・線維形成過程の分子機構解析と制御法開発と探索医療への展望	藤元 治朗	外科 肝・胆・膵 外科	5,460,000	補 委 日本学術振興会
仮説「血液凝固・IFN $\gamma$ ・PAI-1は肝線維化・発癌機構を制御する」の提唱と検証	藤元 治朗	外科 肝・胆・膵 外科	1,690,000	補 委 日本学術振興会
肝組織の恒常維持・修復機構における中心的存在としての肝星細胞の役割解明とその応用	飯室 勇二	外科 肝・胆・膵 外科	1,300,000	補 委 日本学術振興会
肝癌脈管侵襲・進展に関与する分子の探索および制御法の開発	平野 公通	外科 肝・胆・膵 外科	1,560,000	補 委 日本学術振興会
Srcファミリーキナーゼの悪性腫瘍進展での役割の解析と治療への応用	藤盛 好啓	輸血部	1,950,000	補 委 日本学術振興会
B型肝炎の核酸アナログ薬治療におけるdrug freeを目指したインターフェロン治療の有効性に関する研究	西口 修平	内科 肝・胆・膵 科	2,000,000	補 委 厚生労働省
B型肝炎ウイルスe抗体陽性無症候性キャリアの長期予後に関する検討	西口 修平	内科 肝・胆・膵 科	1,000,000	補 委 厚生労働省
ウイルス性肝疾患患者の食事・運動療法とアウトカム評価に関する研究	西口 修平	内科 肝・胆・膵 科	3,000,000	補 委 厚生労働省
ウイルス消失例からの肝癌発症の臨床病態と発がん予測因子の同定	西口 修平	内科 肝・胆・膵 科	1,040,000	補 委 日本学術振興会
肝癌由来増殖因子の血管新生と肝癌増殖における役割の検討	榎本 平之	内科 肝・胆・膵 科	1,950,000	補 委 日本学術振興会
胃癌の発生と進展におけるタイト結合蛋白クロードインの機能解析	大島 忠之	内科 上部消化管 科	1,040,000	補 委 日本学術振興会
日米共同研究によるバレット食道の発生ならびに抑制機序の解明	渡 二郎	内科 上部消化管 科	1,430,000	補 委 日本学術振興会
大動脈瘤の病理組織学的病態解明と新規治療の開発	羽尾 裕之	病院病理部	2,210,000	補 委 日本学術振興会
多様なレセプターチロシンキナーゼ遺伝子変異の消化管間質腫瘍の病態への影響	廣田 誠一	病院病理部	6,760,000	補 委 日本学術振興会

小計  
16  
計  
72

(注)1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 2 論文発表等の実績

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
日本臨床麻酔学会誌 2012 ; 32 : 948-952	ラリンジアルマスクSupremeとラリンジアルチューブの胸骨圧迫中の気道確保における有効の検討 マネキンを用いたシミュレーション解析	西 信一	I C U
Circulation Journal 2012 ; 76 : 833-842	Superiority of Long-Acting to Short-Acting Loop Diuretics in the Treatment of Congestive Heart Failure: The J-MELODIC Study	増山 理	内科 循環器内科
Circulation Journal 2012;76:1722-8	Safety and Efficacy of Endovascular Therapy With a Simple Homemade Carbon Dioxide Delivery System in Patients With Iliofemoral Artery Diseases	川崎 大三	内科 循環器内科
Int J Cardiol. 2013 [Epub ahead of print]	Angiotensin II type 1a receptor signaling is implicated in erythropoietin production in response to iron deficiency in mice.	内藤 由朗	内科 循環器内科
Int J Cardiol. 2013 [Epub ahead of print]	Expression of interleukin-33 and ST2 in nonrheumatic aortic valve stenosis.	内藤 由朗	内科 循環器内科
Circ J. 2013 ;77:588-95.	Intracoronary imaging for detecting vulnerable plaque.	藤井 健一	内科 循環器内科
Circ J. 2013;77:1543-50	Impact of post-procedural intravascular ultrasound findings on long-term results following self-expanding nitinol stenting in superficial femoral artery lesions.	三木 孝次郎	内科 冠疾患科
Journal of Cardiology Cases. 2012;6:78-80	The utility of intravascular ultrasound for the diagnosis and management of spontaneous coronary artery dissection in a middle-aged woman with acute inferior myocardial infarction	三木 孝次郎	内科 冠疾患科
Catheter Cardiovasc Interv. 2013 ;81:165-72	Prediction of distal embolization during percutaneous coronary intervention for unstable plaques with grayscale and integrated backscatter intravascular ultrasound.	澁谷 真彦	内科 冠疾患科
形成外科 2013 ; 56 : 313-316	造影剤を用いない三次元CTの下肢静脈瘤診療における有用性	宮崎 裕子	形成外科
Facial Nerve Research 2012 ; 32 : 146-149	顔面神経麻痺に対する骨膜弁を用いた眉毛挙上術	曾東 洋平	形成外科

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
J Plast Surg Hand Surg. 2013;47:83-8.	A new mouse model of impaired wound healing after irradiation.	河合 建一郎	形成外科
Surgery Today. 2012;42:447-52	Risk factors for short bowel syndrome in patients with Crohn's disease	内野 基	外科 下部消化管外科
Surg Today. 2013;43:1049-57.	Clinical features and management of pouchitis in Japanese ulcerative colitis patients.	内野 基	外科 下部消化管外科
Int J Colorectal Dis. 2013;28:829-34.	Clinicopathological features of ulcerative colitis-associated colorectal cancer pointing to efficiency of surveillance colonoscopy in a large retrospective Japanese cohort.	松岡 宏樹	外科 下部消化管外科
Surg Today. 2013;43:321-4.	Diffuse gastroduodenitis and enteritis associated with ulcerative colitis and concomitant cytomegalovirus reactivation after total colectomy: report of a case.	内野 基	外科 下部消化管外科
日本小児外科学会雑誌 2012 ; 48 : 223-228	Meigs症候群に類似する大量腹水貯留を伴った14歳女児の成人型卵巣顆粒膜細胞腫の1例	佐々木 隆士	外科 小児外科
日本小児外科学会雑誌 2012 ; 48 : 770-774	単孔式腹腔鏡を用いて切除した回盲部重複腸管の1例	阪 龍太	外科 小児外科
JPEN J Parenter Enteral Nutr. 2013 ; 21. [Epub ahead of print]	Laparoscopic-Assisted Percutaneous Endoscopic Gastrostomy: A Simple and Efficient Technique for Disabled Elderly Patients.	奥山 宏臣	外科 小児外科
Case Rep Gastroenterol. 2013;7:14-8.	Torsion of Meckel's Diverticulum in a Child.	野瀬 聡子	外科 小児外科
日本内視鏡外科学会雑誌 2012 ; 17 : 539-545	気胸を併用した左側臥位胸腔鏡下食道切除術	竹村 雅至	外科 上部消化管外科
Jpn J Clin Oncol. 2013 Jan;43:87-91.	A phase II clinical trial of endoscopic submucosal dissection for early gastric cancer of undifferentiated type: Japan Clinical Oncology Group study JCOG1009/1010.	笹子 三津留	外科 上部消化管外科

小計

11

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Jpn J Clin Oncol. 2012 Jun;42:556-9.	A Phase II study of systemic chemotherapy with docetaxel, cisplatin, and S-1 (DCS) followed by surgery in gastric cancer patients with extensive lymph node metastasis: Japan Clinical Oncology Group study JCOG1002.	笹子 三津留	外科 上部消化管外科
Jpn J Clin Oncol. 2013 Mar;43:324-7.	A phase III study of laparoscopy-assisted versus open distal gastrectomy with nodal dissection for clinical stage IA/IB gastric Cancer (JCOG0912).	笹子 三津留	外科 上部消化管外科
Eur J Cancer. 2013;49:1565-77.	Role of chemotherapy for advanced/recurrent gastric cancer: an individual-patient-data meta-analysis.	笹子 三津留	外科 上部消化管外科
Anticancer Res. 2013;33:601-8.	Clinical outcomes and prognosis after thoracoscopic esophagectomy with two-field lymph node dissection for lower thoracic esophageal cancer.	竹村 雅至	外科 上部消化管外科
Surg Endosc. 2013;27:1249-53	Modified triangulating stapling technique for esophagogastrostomy after esophagectomy for esophageal cancer.	竹村 雅至	外科 上部消化管外科
Int J Clin Oncol. 2012;17:33-9.	Practical approaches to diagnose and treat for T0 malignant pleural mesothelioma: a proposal for diagnostic total parietal pleurectomy.	長谷川 誠紀	呼吸器外科
Ann Surg Oncol. 2012;19:3943-52.	Characteristic immunophenotype of solid subtype component in lung adenocarcinoma.	多久和 輝尚	呼吸器外科
Cancer Science. 2012;103:868-74	Frequent inactivation of the BAP1 gene in epithelioid-type malignant mesothelioma	近藤 展行	呼吸器外科
Int J Clin Oncol. 2013. [Epub ahead of print]	Frequency of epidermal growth factor receptor mutations in Bangladeshi patients with adenocarcinoma of the lung.	近藤 展行	呼吸器外科
整形外科 2013 ; 64 : 101-104	脊椎手術の手術部位感染の危険因子の検討 予防的抗菌薬投与プロトコルの遵守と影響	井上 真一	整形外科
中部日本整形外科災害外科学会雑誌 2012 ; 55 : 901-902	骨延長術とon-top plastyにて再建した手掌部切断症例の長期成績	田中 寿一	整形外科
中部日本整形外科災害外科学会雑誌 2013 ; 56 : 371-372	悪性腫瘍の筋肉内転移の手術適応	福永 訓	整形外科
関西臨床スポーツ医・科学研究会誌 2012 ; 21 : 45-46	有痛性分裂膝蓋骨(Saupe分類II類)に対し、DTJ screwを用いて固定した4膝	中山 寛	整形外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
中部日本整形外科災害外科学会雑誌 2013 ; 56 : 289-290	当科における仙腸関節スクリューの治療経験	楠山 一樹	整形外科
Hip Joint 2012 ; 38 : 965-969	Image-free navigationにおけるTHAの精度と設置誤差に関わる因子の検討	福西 成男	整形外科
中部日本整形外科災害外科学会雑誌 2012 ; 55 : 1139-1140	血清CEAはユーイング肉腫の補助診断、病勢を反映するマーカーとなりうるか?	福永 訓	整形外科
HipJoint 2012:38:229-32	Metal-on-metal、large headを用いたTHAの短期成績	福西 成男	整形外科
Journal of Spine Research 2012:3:1325-29	ブーメラン型ケージを使用したTLIFの早期ケージ移動についての検討	圓尾 圭史	整形外科
Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc. 2013 [Epub ahead of print]	Arthroscopic labral repair concomitantly performed with curved periacetabular osteotomy.	中山 寛	整形外科
Orthop Rev (Pavia). 2013;5:e5.	Assessment of acetabulum anteversion aligned with the transverse acetabulum ligament: cadaveric study using image-free navigation system.	福西 成男	整形外科
精神科 2012;20:326-32	トゥレット症候群を伴う強迫性障害の臨床像と治療 Blonanserinを用いたSSRI強化療法を中心に	松永 寿人	精神科神経科
日本生物学的精神医学会誌 2013;24:3-10	【難治性精神疾患に対するDBS療法-世界の現状とわが国の課題】 難治性精神疾患の治療と現状 難治性強迫性障害の臨床像と対応	松永 寿人	精神科神経科
Curr Psychiatry Rep. 2012 :14:211-9	A 2012 evidence-based algorithm for the pharmacotherapy for obsessive-compulsive disorder.	松永 寿人	精神科神経科
臨床精神医学 2012;41:589-95	DSM-5 ドラフトにおける強迫性障害の動向	松永 寿人	精神科神経科
分子精神医学 2012;12:222-5	気分障害・不安障害における行動～特に行動療法における薬物併用の意義と注意点～	松永 寿人	精神科神経科
精神科治療学 2012;27:929-34	強迫性障害の典型例	松永 寿人	精神科神経科
眼科臨床紀要 2013;6:135-8	眼振に対する水平4直筋大量後転術の手術成績と患者満足度調査	木村 亜紀子	眼科
日本視能訓練士協会誌 2013;41:95-99	観血的治療とプリズム療法の併用が有効であった回旋性先天眼振の一例	木村 亜紀子	眼科
眼科臨床紀要 2013;6:116-9	代償不全性上斜筋麻痺および後天滑車神経麻痺の垂直・回旋融像域の検討	木村 亜紀子	眼科
Clin Ophthalmol. 2013;7:131-6	Frontal suspension for congenital ptosis using an expanded polytetrafluoroethylene (Gore-Tex®) sheet: one-year follow-up.	中内 一揚	眼科

小計

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Glia. 2013:61:338-48	Phosphorylation of ezrin/radixin/moesin (ERM) protein in spinal microglia following peripheral nerve injury and lysophosphatidic acid administration.	櫻本 良亮	眼科
Journal of Clinical Biochemistry and Nutrition. 2012:51:213-15	A secure "double-check" technique of bedside post pyloric feeding tube placement using transnasal endoscopy.	橋本 篤徳	救命救急センター
日本救急医学会雑誌 2013:24:59-68	シグナルガスの急性肺傷害に対する効果	小谷 穰治	救命救急センター
Shock:日本Shock学会雑誌 2013:27:52-8	ショック、敗血症、臓器障害における最新治療 侵襲反応の性差について	小谷 穰治	救命救急センター
J Clin Biochem Nutr. 2013:52:154-9	The effects of n-3 polyunsaturated fatty acid-rich total parenteral nutrition on neutrophil apoptosis in a rat endotoxemia.	寺嶋 真理子	救命救急センター
Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol. 2013:116:9-15	Comparison of joint pain in patients diagnosed with and without articular disc displacement without reduction based on the Research Diagnostic Criteria for Temporomandibular Disorders.	本田 公亮	歯科口腔外科
Int J Oncol. 2013:42:873-80	Functional analysis of Zyxin in cell migration and invasive potential of oral squamous cell carcinoma cells.	山村 倫世	歯科口腔外科
Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol. 2012:114:318-24	Influence of dentures in the initial occurrence site on the prognosis of bisphosphonate-related osteonecrosis of the jaws: a retrospective study.	長谷川 陽子	歯科口腔外科
Eur J Pharmacol. 2012:685:149-55	Cisplatin-induced acute renal failure in mice is mediated by chymase-activated angiotensin-aldosterone system and interleukin-18.	奥井 森	歯科口腔外科
日本口腔外科学会雑誌 2013:59:159-71	HPV陽性および陰性の口腔扁平上皮がんに対するin vitro多段階発がんモデル	頭司 雄介	歯科口腔外科
Int J Pediatr Otorhinolaryngol. 2013:77:233-6	Analysis of benign paroxysmal positional nystagmus in children.	坂 直樹	耳鼻咽喉科
Cell Tissue Res. 2013:352:647-57	Decreased expression of VE-cadherin and claudin-5 and increased phosphorylation of VE-cadherin in vascular endothelium in nasal polyps.	都築 建三	耳鼻咽喉科

小計

12

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Auris Nasus Larynx. 2013;40:452-7	Olfactory changes after endoscopic sinus surgery in patients with chronic rhinosinusitis.	岡 秀樹	耳鼻咽喉科
日本小児腎不全学会雑誌 2012;32:38-40	セフトリアキソンによる急性腎障害の1例	大崎 慶子	小児科
Nephron Extra. 2012; 2:17-26	Mineralocorticoid Receptor Blocker Protects against Podocyte-Dependent Glomerulosclerosis.	高木 信明	小児科
日本小児科学会雑誌 2012;32:38-40	小児の慢性頭痛の診断と起立性調節障害に伴う頭痛の特徴についての検討	下村 英毅	小児科
Clinical and Experimental Nephrology. 2012;16:448-55	The impact of ferritin fluctuations on stable hemoglobin levels in hemodialysis patients	八尋 真名	内科 腎・透析科
BMC Nephrol. 2013;14:18.	Acetate free citrate-containing dialysate increase intact-PTH and BAP levels in the patients with low intact-PTH.	倉賀野 隆裕	内科 腎・透析科
Clin Exp Nephrol. 2013;17:424-30	The mitochondrial protein frataxin is downregulated in hemodialysis patients.	蓮池 由起子	内科 腎・透析科
Hepatology Research. 2012;42:376-84	Cost-effectiveness analysis on the surveillance for hepatocellular carcinoma in liver cirrhosis patients using contrast-enhanced ultrasonography.	田中 弘教	超音波センター
Eur J Radiol. 2012;81:4112-8	Acoustic Radiation Force Impulse elastography for fibrosis evaluation in patients with chronic hepatitis C: an international multicenter study	飯島 尋子	超音波センター
肝臓 2013;54:291-3	穿刺針ナビゲーションシステム VirtuTRAXTM安全使用のための短縮クリップ法	田中 弘教	超音波センター
消化器と免疫 2012;48:57-61	消化器疾患の免疫療法 次世代白血球除去療法を目指した温熱刺激顆粒球・単球吸着療法の基礎検討 オンライン免疫調節治療の可能性を探る	松本 譽之	内科 下部消化管科
BMC Gastroenterol. 2013;13:27	Looking for predictive factors of clinical response to adsorptive granulocyte and monocyte apheresis in patients with ulcerative colitis: markers of response to GMA.	横山 陽子	内科 下部消化管科
Inflamm Bowel Dis. 2012;18:1617-23	Scheduled infliximab monotherapy to prevent recurrence of Crohn's disease following ileocolic or ileal resection: a 3-year prospective randomized open trial.	松本 譽之	内科 下部消化管科

小計

13

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Inflamm Bowel Dis. 2012;18:803-8	Double-blind, placebo-controlled trial of oral tacrolimus (FK506) in the management of hospitalized patients with steroid-refractory ulcerative colitis.	松本 譽之	内科 下部消化管科
消化器内科 2012;54:70-6	InfliximabによるTop-down治療を行ったクローン病症例の臨床的検討	中村 志郎	内科 下部消化管科
International Journal of Hematology. 2012;96:101-8	Feasibility of unmanipulated haploidentical stem cell transplantation using standard GVHD prophylaxis for HLA-homozygous patients.	池亀 和博	内科 血液内科
Int J Hematol. 2013;97:287-90	Detection of donor-derived CMV-specific T cells in cerebrospinal fluid in a case of CMV meningoencephalitis after cord blood stem cell transplantation.	池亀 和博	内科 血液内科
Bone Marrow Transplant. 2013;48:859-64	Frequency of CD4(+)FOXP3(+) regulatory T-cells at early stages after HLA-mismatched allogeneic hematopoietic SCT predicts the incidence of acute GVHD.	玉置 広哉	内科 血液内科
Internal Medicine. 2012;51:1195-98	Clinical Features of 16 Cases of Headache Which Were Provoked after Watching 3-D Videos	團野 大介	内科 総合診療科
Intern Med. 2013;52:539-45	Anxiety and depression in patients with Parkinson's disease.	山西 敏之	内科 総合診療科
Intern Med. 2013;52:493-5	Three cases of nummular headache effectively treated with Neurotropin(®).	團野 大介	内科 総合診療科
Endocr J. 2013;60:733-42	Add-on therapy with the DPP-4 inhibitor sitagliptin improves glycemic control in insulin-treated Japanese patients with type 2 diabetes mellitus.	勝野 朋幸	内科 糖尿病科
Endocr J. 2013;60:431-9	Effect of additional administration of acarbose on blood glucose fluctuations and postprandial hyperglycemia in patients with type 2 diabetes mellitus under treatment with alogliptin.	楠 宜樹	内科 糖尿病科
Clin Exp Nephrol. 2013;17:10-5	New strategy for the treatment of type 2 diabetes mellitus with incretin-based therapy.	難波 光義	内科 糖尿病科
Clin Exp Nephrol. 2013;17:10-5	Interleukin-17- and protease-activated receptor 2-mediated production of CXCL1 and CXCL8 modulated by cyclosporine A, vitamin D3 and glucocorticoids in human keratinocytes.	谷口 怜子	皮膚科
静脈学 2013;24:67-70	小伏在静脈に連続する異常静脈を伴う不全型Klippel-Trenaunay症候群の1例	羽田 孝司	皮膚科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
衛生動物 2012:63:235-7	ゴスジシラキブユの人吸血例	夏秋 優	皮膚科
衛生動物 2013:64:17-9	タテツツガムシ幼虫の実験的刺症における臨床像および病理組織像の検討	夏秋 優	皮膚科
衛生動物 2013:64:51-54	シュルツェマダニ刺症で環状紅斑を呈したがライム病ボレリア感染は確認できない症例についての新たな見解	夏秋 優	皮膚科
衛生動物 2013:64:47-49	タカサゴキララマダニ刺症に伴う遊走性紅斑 Tick-associated rash illness (TARI)	夏秋 優	皮膚科
皮膚の科学 2012:11:409-12	リドカイン塩酸塩によるアナフィラキシーの1例	夏秋 優	皮膚科
皮膚科の臨床 2012:54:1337-40	【乾癬】 白血球除去療法が奏効した膿疱性乾癬	今井 康友	皮膚科
Journal of Environmental Dermatology and Cutaneous Allergology. 2012:6:405-9	アレルギーの増悪機構	今井 康友	皮膚科
新薬と臨床 2012:61:1330-36	慢性そう痒性皮膚疾患患者におけるエバステン(エバステル)0D錠のQOL調査	山西 清文	皮膚科
皮膚の科学 2013:12:18-25	下肢血行再建術と遊離腹直筋弁にて救肢した重症虚血肢の1例	山本 雅章	皮膚科
皮膚の科学 2012:11:290-93	粘液水腫性苔癬の1例	夏秋 優	皮膚科
日本皮膚科学会雑誌 2012:122:3444-6	皮膚科の救急診療・緊急医療 役に立つ皮膚科 救急対応を要する虫刺症	夏秋 優	皮膚科
日本皮膚科学会雑誌 2012:122:3186-8	角化症診療のカットニング・エッジ 非水疱型先天性魚鱗癬様紅皮症における表現型と責任遺伝子の多様性	山西 清文	皮膚科
Dis Markers. 2013:34:153-61	Serum cytokines correlated with the disease severity of generalized pustular psoriasis.	山本 雅章	皮膚科
Journal of Radiation Research. 2012:53:217-24	Long-term Sequential Changes of Radiation Proctitis and Angiopathy in Rats	土井 啓至	放射線科
Journal of Radiation Research. 2012:53:785-90	Dosimetric and delivery characterizations of full-arc and half-arc volumetric-modulated arc therapy for maxillary cancer	上紺屋 憲彦	放射線科
Journal of Anesthesia. 2012:26:296-98	Addition of a video camera system improves the ease of Airtraq tracheal intubation during chest compression	植木 隆介	麻酔科
麻酔と蘇生 2012:48:41-43	Comparison of the Depth of Continuous and 30:2 Ratio Chest Compressions Performed by Young Doctors According to the 2010 Guidelines for Resuscitation: A Manikin Study	植木 隆介	麻酔科

小計

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
J Biomed Mater Res B Appl Biomater. 2013;101:85-90	Physical plugging does not account for attenuation of capillary leakage by hydroxyethyl starch 130/0.4: a synthetic gel layer model.	多田羅 恒雄	麻酔科
J Anesth. 2013;27:359-65	Protein sparing during general anesthesia with a propofol solution containing medium-chain triglycerides for gastrectomy: comparison with sevoflurane anesthesia.	多田羅 恒雄	麻酔科
臨床リウマチ 2012;24:260-6	皮膚筋炎に合併した間質性肺炎にミゾリピンが著効した1例	佐野 統	内科 リウマチ・ 膠原病科
日本臨床免疫学会誌 2012;35:157-67	再発性多発軟骨炎における気道病変の臨床	東 直人	内科 リウマチ・ 膠原病科
Neurol Med Chir (Tokyo). 2013;53:482-9.	Usefulness of PRESTO Magnetic Resonance Imaging for the Differentiation of Schwannoma and Meningioma in the Cerebellopontine Angle.	友金 祐介	脳神経外科
Lung. 2012;190:333-7	Heme oxygenase-1 promoter polymorphism is associated with risk of malignant mesothelioma.	玉置 知子	臨床遺伝部
Cancer Sci. 2012;103:868-74	Frequent inactivation of the BAP1 gene in epithelioid-type malignant mesothelioma.	玉置 知子	臨床遺伝部
Int. J. Mol. Sci. 2013, 14, 3215-27	Transcriptional Analysis of Hair Follicle-Derived Keratinocytes from Donors with Atopic Dermatitis Reveals Enhanced Induction of IL32 Gene by IFN- $\gamma$	玉置 知子	臨床遺伝部
Carcinogenesis. 2012;33:969-75	Deficiency of Fyn protein is prerequisite for apoptosis induced by Src family kinase inhibitors in human mesothelioma cells.	久保 秀司	臨床遺伝部
Journal of Clinical Rehabilitation 2012;21:807-811	Constraint-induced movement therapy (CI療法)後の歩行・バランス機能の変化	丸本 浩平	リハビリテーション部
理学療法学 2013;40:1-9	心不全患者に対する単回の下肢運動が心拍数、血圧、自覚的疲労感および心臓自律神経活動に及ぼす影響	道免 和久	リハビリテーション部
日本呼吸ケア・リハビリテーション学会誌 2012;22:415-18	化学療法施行中における低負荷下肢トレーニングにより筋力、歩行能力、ADLスコアが改善した悪性胸膜中皮腫の1例	道免 和久	リハビリテーション部
臨床理学療法研究 2012;29:21-24	内科系疾患患者における下肢伸展挙上反復回数と膝伸展筋力および歩行自立度との関連性	道免 和久	リハビリテーション部
臨床理学療法研究 2012;29:61-63	重症筋無力症クリーゼ症例の筋力改善の経過に着目した1症例	道免 和久	リハビリテーション部
臨床理学療法研究 2012;29:51-54	方向変換動作における予測的運動戦略の特徴	道免 和久	リハビリテーション部

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
作業療法 2012:31:164-76	CI療法における麻痺側上肢の行動変容を促進するための方策(Transfer Package)の効果	道免 和久	リハビリテーション部
作業療法ジャーナル 2012:46:1688-94	脳卒中後片麻痺患者における学習性不使用に対する検討	道免 和久	リハビリテーション部
Clin Rehabil. 2013:27:418-26	A 6-month follow-up after constraint-induced movement therapy with and without transfer package for patients with hemiparesis after stroke: a pilot quasi-randomized controlled trial.	道免 和久	リハビリテーション部
Psychooncology. 2013:22:1159-66	Gender differences in health-related quality of life, physical function and psychological status among patients in the early phase following allogeneic haematopoietic stem cell transplantation.	道免 和久	リハビリテーション部
Support Care Cancer. 2013:21:2161-9	Relationship between corticosteroid dose and declines in physical function among allogeneic hematopoietic stem cell transplantation patients.	道免 和久	リハビリテーション部
Eur J Cancer Care (Engl). 2013:22:289-99	Safety and feasibility of physical therapy in cytopenic patients during allogeneic haematopoietic stem cell transplantation.	道免 和久	リハビリテーション部
Journal of Clinical Rehabilitation 2012:21:1127-30	装飾用義手に対して機能付加を試みた一例	池田 紗綾香	リハビリテーション部
Restor Neurol Neurosci. 2013:31:387-96	Diffusion tensor imaging predicts the outcome of constraint-induced movement therapy in chronic infarction patients with hemiplegia: A pilot study.	児玉 典彦	リハビリテーション部
J Stroke Cerebrovasc Dis. 2013. [Epub ahead of print]	Relationship between Diffusion Tensor Fractional Anisotropy and Motor Outcome in Patients with Hemiparesis after Corona Radiata Infarct.	丸本 浩平	リハビリテーション部
臨床神経学 2013:53:273-7.	両側前頭葉に主病変を有し、ステロイド治療が奏効した抗Hu抗体陽性傍腫瘍性脳炎の1例	山本 麻未	内科 神経・脳卒中科
Med Mol Morphol. 2013:46:160-5	Sulfatide accumulation in the dystrophic terminals of gracile axonal dystrophy mice: lipid analysis using matrix-assisted laser desorption/ionization imaging mass spectrometry.	芳川 浩男	内科 神経・脳卒中科

小計

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Surgery. 2013;153:70-7.	Angiogenesis is crucial for liver regeneration after partial hepatectomy.	宇多 優吾	外科 肝・胆・膵外科
Lab Invest. 2012;92:57-71	Fascin, a novel marker of human hepatic stellate cells, may regulate their proliferation, migration, and collagen gene expression through the FAK-PI3K-Akt pathway.	宇山 直樹	外科 肝・胆・膵外科
Surgery Today. 2012;42:1026-31	Primary epithelioid hemangioperithelioma of the retroperitoneum: report of a case	飯室 勇二	外科 肝・胆・膵外科
Biol Blood Marrow Transplant. 2013;19:812-9.	Double-unit cord blood transplantation after myeloablative conditioning for patients with hematologic malignancies: a multicenter phase II study in Japan.	甲斐 俊朗	輸血部
Carcinogenesis. 2012;33:969-75.	Deficiency of Fyn protein is prerequisite for apoptosis induced by Src family kinase inhibitors in human mesothelioma cells.	藤盛 好啓	輸血部
Anticancer Res. 2013;33:1073-9.	Phase II study of carboplatin and weekly irinotecan combination chemotherapy in recurrent ovarian cancer: a Kansai clinical oncology group study (KCOG0330).	鏑本 浩志	産科婦人科
Gynecol Oncol. 2013;128:22-7.	Phase II study of interval debulking surgery followed by intraperitoneal chemotherapy for advanced ovarian cancer: a Kansai Clinical Oncology Group study (KCOG9812).	鏑本 浩志	産科婦人科
Gynecol Oncol. 2013;129:129-34.	Phase II trial on neoadjuvant intravenous and trans-uterine arterial chemotherapy for locally advanced bulky cervical adenocarcinoma.	鏑本 浩志	産科婦人科
化学療法の領域 2012;28:1142-51	【ウイルス肝炎のすべて】 血液感染するウイルス肝炎 C型肝炎 C型肝炎における肝発がん抑制	西口 修平	内科 肝・胆・膵科
肝胆膵画像 2012;14:429-37	【肝細胞癌と鑑別を要する多血性腫瘤】 アルコール性肝硬変に生じた3結節の切除例	岩井 孝史	内科 肝・胆・膵科
消化器内科 2012;56:74-78	【高齢者における消化器疾患の診断と治療】 高齢者に対する胆膵内視鏡治療後合併症に対する予防と対策	岩田 恵典	内科 肝・胆・膵科

小計

11

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
肝・胆・膵 2012:66:423-30	【肝胆膵疾患:「予後」の変遷】 肝疾患 C型肝炎の治療介入による予後	榎本 平之	内科 肝・胆・膵科
J Gastroenterol. 2013 [Epub ahead of print]	Relevance of the Core 70 and IL-28B polymorphism and response-guided therapy of peginterferon alfa-2a ± ribavirin for chronic hepatitis C of Genotype 1b: a multicenter randomized trial, ReGIT-J study.	西口 修平	内科 肝・胆・膵科
医学のあゆみ 2012:240:693 -696	肝硬変死の根絶をめざした総合的な治療戦略	西口 修平	内科 肝・胆・膵科
消化器内科 2012:54:486-92	C型肝炎に対するPEG-IFN/RBV併用療法の治療成績	會澤 信弘	内科 肝・胆・膵科
消化器内科 2012:54:744-51	C型肝炎慢性肝炎組織に生じるミトコンドリア遺伝子異常と発癌	會澤 信弘	内科 肝・胆・膵科
臨床消化器内科 2012:27:529	わが国における非B非C型肝炎の実態	西口 修平	内科 肝・胆・膵科
肝臓 2012:53:237-42	B型肝炎の核酸アナログ薬治療における治療中止基準の作成と治療中止を目指したインターフェロン治療の有効性に関する治療	西口 修平	内科 肝・胆・膵科
医学のあゆみ 2012:240:765-70	腹水の治療と特発性細菌性腹膜炎に対する新規診断法: “菌のみえない”感染症へのアプローチ	會澤 信弘	内科 肝・胆・膵科
医学のあゆみ 2012:240:725-31	肝硬変の診断法と重症度分類	石井 昭生	内科 肝・胆・膵科
消化器の臨床 2012:15:262-5	ペグインターフェロン単独療法	榎本 平之	内科 肝・胆・膵科
消化器内科 2012:55:228-32	血小板低値のC型肝炎慢性肝疾患症例におけるインターフェロン療法	榎本 平之	内科 肝・胆・膵科
治療 2012:94:1551-7	腹水・浮腫を伴う肝硬変患者のマネジメント	榎本 平之	内科 肝・胆・膵科
Hepatology Research 2012:42:22-32	Anticarcinogenic impact of interferon therapy on the progression of hepatocellular carcinoma in patients with chronic viral infection	西口 修平	内科 肝・胆・膵科

小計

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
J Viral Hepat. 2012;19:694-703.	Anti-interferon- $\alpha$ neutralizing antibody is associated with nonresponse to pegylated interferon- $\alpha$ plus ribavirin in chronic hepatitis C.	西口 修平	内科 肝・胆・膵科
Ann Clin Biochem July 2012;49:387-90	The glycated albumin to glycated haemoglobin ratio increases along with the fibrosis stage in non-alcoholic steatohepatitis	西口 修平	内科 肝・胆・膵科
Hepatol Res. 2012;42:621-26	Guidelines on nutritional management in Japanese patients with liver cirrhosis from the perspective of preventing hepatocellular carcinoma.	西口 修平	内科 肝・胆・膵科
Hepatol Res. 2012;42:523-42	Guideline on the use of new anticancer drugs for the treatment of Hepatocellular Carcinoma 2010 update.	西口 修平	内科 肝・胆・膵科
Hepatogastroenterology 2012;59:2280-4.	Relationship between elevation of glycated albumin to glycated hemoglobin ratio in patients with a high bleeding risk of esophageal varices.	坂井 良行	内科 肝・胆・膵科
World J Hepatol. 2012; 4: 11-17.	Elevation of the glycated albumin to glycated hemoglobin ratio during the progression of hepatitis C virus related liver fibrosis	會澤 信弘	内科 肝・胆・膵科
Vox Sang. 2012;102:285-93	Significant background rates of HBV and HCV infections in patients and risks of blood transfusion from donors with low anti-HBc titres or high anti-HBc titres with high anti-HBs titres in Japan: a prospective, individual NAT study of transfusion-transmitted HBV, HCV and HIV infections.	西口 修平	内科 肝・胆・膵科
Hepatol Res. 2012;42:139-49.	Combination of hepatitis B viral antigens and DNA for prediction of relapse after discontinuation of nucleos(t)ide analogs in patients with chronic hepatitis B.	西口 修平	内科 肝・胆・膵科
J Hepatol. 2012;56:85-94	Development of a new in situ hybridization method for the detection of global bacterial DNA to provide early evidence of a bacterial infection in spontaneous bacterial peritonitis.	榎本 平之	内科 肝・胆・膵科
Southeast Asian J Trop Med Public Health. 2012;43:423-30.	Abdominal ultrasonographic findings in typhoid fever: a comparison between typhoid patients and those with non-typhoidal Salmonella and Campylobacter jejuni enterocolitis.	坂井 良行	内科 肝・胆・膵科

小計

10

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Journal of Infection and Chemotherapy. 2012;18:515-21	Clinical efficacy and safety of intravenous itraconazole in the management of invasive candidiasis in patients of surgery and critical care	竹末 芳生	感染制御部
Journal of Infection and Chemotherapy. 2012;18:816-26	Nationwide surveillance of antimicrobial susceptibility patterns of pathogens isolated from surgical site infections (SSI) in Japan	竹末 芳生	感染制御部
Journal of Infection and Chemotherapy. 2012;18:296-302	Evaluation of teicoplanin dosing designs to achieve a new target trough concentration	竹末 芳生	感染制御部
J Infect Chemother. 2013;19:709-16.	Preferable timing of therapeutic drug monitoring in patients with impaired renal function treated with once-daily administration of vancomycin.	竹末 芳生	感染制御部
Internal Medicine. 2012;51:1211-13	Successful Eendoscopic Submucosal Dissection of Gastric Carcinoid in a Patient with Autoimmune Gastritis and Systemic Lupus Erythematosus	大島 忠之	内科 上部消化管科
Neuroreport. 2013;24:68-72.	Activation of p38 MAPK through transient receptor potential A1 in a rat model of gastric distension-induced visceral pain.	近藤 隆	内科 上部消化管科
J Gastroenterol. 2013;48:360-5.	Effect of age and correlation between esophageal visceral chemosensitivity and mechanosensitivity in healthy Japanese subjects.	山崎 尊久	内科 上部消化管科
J Gastroenterol Hepatol. 2013;28:479-87.	Histology of symptomatic gastroesophageal reflux disease: is it predictive of response to proton pump inhibitors?	三輪 洋人	内科 上部消化管科
Am J Physiol Gastrointest Liver Physiol. 2013;304:568-73.	Prostaglandin E(2) mediates acid-induced heartburn in healthy volunteers.	近藤 隆	内科 上部消化管科
J Gastroenterol Hepatol. 2013;28:106-11.	Use of scintigraphy to evaluate gastric accommodation and emptying: comparison with barostat.	富田 寿彦	内科 上部消化管科
Journal of Artificial Organs. 2012;15:162-67	Aortic valve prosthesis selection in dialysis patients based on the patient's condition	福井 伸哉	心臓血管外科
Gen Thorac Cardiovasc Surg. 2013;61:148-51.	Subepicardial aneurysm by venting catheter via the right superior pulmonary vein.	良本 政章	心臓血管外科

小計

12

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門	
Lab Invest. 2013:93:502-7.	Extracellular domain c-kit mutation with duplication of Ser501Ala502 found in gastrointestinal stromal tumors is more imatinib- and nilotinib-sensitive than that with duplication of Ala502Tyr503.	廣田 誠一	病院病理部	小計 2
Pathol Res Pract. 2013:209:124-7.	Paratesticular myxoid/round cell liposarcoma harboring type 3 DDIT3-FUS fusion gene: report of a very rare case.	造住 誠孝	病院病理部	計 181

(注)1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること。(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

## 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 太城 力良		
管理担当者氏名	管理課長 診療支援課長	入佐 賢一、 柳谷 浩以、	医事課長 小寺 斉人 薬剤部長 木村 健

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録  病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		管理課 診療支援課 薬剤部	保管部署及び電子カルテ上にて管理している。 なお、画像保存通信システム（PACS）は平成21年3月16日より、電子カルテシステムは平成25年2月25日より稼働している。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	管理課	/
	高度の医療の実績	医事課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	管理課	
	高度の医療の研修の実績	管理課	
	閲覧実績		
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
	入院患者数、外来患者数及び調剤の数を明らかにする帳簿	管理課 薬剤部	
一規 項則 第一 号に 掲げ る第 一 項各 号及 び第 九 条の 第二 十三 第	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部	/
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全管理部	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染制御部	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全管理部	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	管理課	

(様式第12)

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	院内感染対策のための指針の策定状況	感染制御部
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御部 管理課
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医療安全管理部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	医療安全管理部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全管理部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	臨床工学室
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	臨床工学室
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床工学室
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全管理部		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び  
紹介患者に対する医療提供の実績

○ 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院事務部長 甲斐 義啓
閲覧担当者氏名	管理課長 入佐 賢一、医事課長 小寺 斉人 診療支援課長 柳谷 浩以
閲覧の求めに応じる場所	管理課会議室、医事課会議室

○ 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

○ 紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	79.8 %	算定期間	平成24年4月1日 ~ 平成25年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数	20,984人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	18,323人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	1,273人	
	D: 初診の患者の数	32,539人	

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
- 2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

## 規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項各号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指針の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>I. はじめに ー安全と信頼の医療の提供ー</li> <li>II. 医療安全管理体制確保のための委員会の組織規約</li> <li>III. 当院における医療安全管理体制図</li> <li>IV. 当院における異状死（異状死体）届出に関する基準</li> <li>V. 医療事故を起こした職員・当該部署職員への心理的支援について</li> <li>VI. 大学附属病院における医療上の事故等の公表に関する指針</li> </ul> </li> </ul>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 34 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>① 医療安全管理委員会 12回</li> <li>② セイフティマネージャー連絡会 6回</li> <li>③ 医療事故緊急対応部会 0回</li> <li>④ 医療事故等検討部会 2回</li> <li>⑤ 病院長・医療安全管理委員会コアメンバー会議 14回</li> </ul> </li> </ul>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 5 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>平成24年5月24日（木） テーマ：「鎮静・鎮痛の最近の動向と薬剤の適正使用」 ーあなたは事故を未然に防ぐことができますかー</li> <li>平成24年7月30日（月） テーマ：「患者安全を求めて：チーム学習理論から」</li> <li>平成24年10月10日（水） テーマ：「安全なMRI検査を行うために～見逃せばこんなことがおこります～」</li> <li>平成24年12月4日（火） テーマ：「医療事故から学んだ手作りの医療安全」</li> <li>平成25年1月31日（木） テーマ：「患者・医療者の良好な関係づくり」</li> </ul> </li> </ul>	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有 ・ 無)</li> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>① 発生したインシデント・アクシデントに対して、専任医師・統括・専従セイフティマネージャーが発生部門セイフティマネージャーとともに、内容分析、改善策の検討並びに患者への対応の指示を行っている。また、医療安全管理委員会委員及びセイフティマネージャーから構成される「オンラインインシデント検討会」を毎週開催し、各部門に改善策の助言・提案を行うことにしている。なお、必要に応じて「医療事故等検討部会」を開催し、医療事故等の原因を分析し、改善策の検討を行っている。</li> <li>② 報告のあった医療事故に対し、医療安全管理委員会等で原因を分析し、対応・改善策の検討を行っている。また、事故発生1ヶ月後・3ヶ月後（必要時6ヶ月後）に統括・専従セイフティマネージャーと当該部署のセイフティマネージャーで、改</li> </ul> </li> </ul>	

(様式第13-2)

<p>善策の実施状況を検証し、医療安全管理委員会に報告している。</p> <p>③ 発生したインシデント・アクシデント内容からテーマを設定し、看護部事故防止委員会・各部署のセイフティマネージャーと協働して、院内監査ラウンドなどを実施している。</p> <p>④ 医療安全強化月間のテーマを決め、各部署の安全への取り組みを支援している。</p> <p>⑤ 医療安全ニュースを月2回発行し、当院のインシデント・アクシデント情報・再発防止策・事故後の検証結果、他施設の事故事例、医療安全情報（厚生労働省・学会・PMDA等）などを掲載し、職員に周知している。</p> <p>⑥ 職種別研修でも当院で発生したインシデント・アクシデントを教材にし、事故分析やKYT訓練を行っている。</p>	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 ( 3 名 ) ・ 無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 ( 3 名 ) ・ 無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有 ・ 無
<p>・ 所属職員： 専任( 3 )名 兼任( 14 )名</p> <p>・ 活動の主な内容：          ①安全管理体制の構築、委員会の運営、指針、マニュアルの改訂など          ②医療事故を防止するための情報収集、分析、改善策の立案、フィードバック、評価          ③改善策実施のための各部門への依頼、調整、助言          ④安全管理対策の実施状況の調査、分析          ⑤セイフティマネージャーの活動支援          ⑥医療安全に関する職員への教育・研修の実施          ⑦医療事故への対応：届出・公表を含む事故発生後の対応、事故の要因分析</p>	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に対応される体制の確保状況	有 ・ 無

## 院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有 ・ 無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>① 感染管理に関する基本的な考え方  ② 感染管理体制  ③ 職員の教育・研修  ④ 感染症の発生時の報告  ⑤ 感染症の発生状況の報告  ⑥ 感染症の発生時の対応  ⑦ 病院感染対策のための指針の閲覧  ⑧ 病院感染対策のための指針の見直し・改正</p>	
② 院内感染のための委員会の開催状況	年 12 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <p>病院感染対策に関する事項を調査・審議し、院内感染症発生時の原因の分析、改善策の立案、実践、周知等感染管理を推進している。なお、必要があるときには臨時で開催する。</p>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 3 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>病院感染制御に対する基本的な考え方及び具体的施策の周知、業務を遂行するうえでの知識・技能の向上及び病院感染制御に対する意識の高揚を目的として、教育・研修を実施している。</p> <p>●病院感染制御をテーマとする講演会を開催（全職員対象）・・・年3回  平成24年9月18日（火）～9月24日（月）、10月1日（月）～10月5日（金）  テーマ：「クリーンハンドキャンペーン 第3弾」</p> <p>平成24年10月10日（水）  テーマ：「カテーテル関連尿路感染；予防と治療」</p> <p>平成25年2月14日（木）、平成25年3月6日（水）  テーマ：「知っておきたい 耐性菌とその対策」</p> <p>●職種別研修等  看護師ラダーレベル別研修、リンクナースを対象とした感染制御に関する研修を実施  清掃職員（委託業者）を対象とした病院感染制御の基本について研修を実施  院内感染の増加が疑わしい場合、または確認された場合は、施設全体または部署や職種を限定して院内感染対策に関する教育・指導を実施 計22回</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 （有 ・ 無）</p> <p>感染症発生時は「院内で取り決めている報告すべき感染症の発生時の流れ」に沿って感染症報告書により主治医が報告を行う。（緊急連絡を要する場合は検査部より主科および感染制御部へ電話で連絡）感染症が改善した場合は「感染症解除報告」に沿って感染症解除報告書を提出する。報告すべき感染症は、感染症新法、結核予防法、食品衛生法に基づく疾患及び院内感染管理上、迅速に対策を行う必要があるものとする。</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>感染症発生に係る報告、連絡があった事例は「感染症または病原体の検出種類によるレベル分類」に基づき感染制御部が対応し、必要があれば感染対策委員会で審議し対策を講ず</p>	

(様式第13-2)

る。また、アウトブレイクを疑う事例が発生した場合は、「アウトブレイク発生時の対応」に基づき対応し、アウトブレイクの可能性が高いと判断した場合、感染制御部は感染対策委員会委員長に報告し、臨時の委員会を開催し対策について協議する。患者個々の抗菌薬治療に関して、主治医からのコンサルテーションにより感染制御部と協議する。広域グラム陰性菌治療薬の使用割合をAUDで調査し、カルバペネム系とタゾバクタム/ピペラシリン合わせて50%、その他の広域βラクタム薬35%、ニューキノロン系15%を目標として使用割合をコントロールし、抗菌薬の適正使用を推進する。

## 医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有 ・ 無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 2 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>(臨床研修医オリエンテーション)</li> <li>&lt;平成24年4月3日(火)&gt;</li> <li>テーマ 「医薬品の適正使用・薬物の相互作用」</li> <li>講師 兵庫医科大学病院 薬剤部 室 親明</li> </ul> </li> <li>(病院全職員対象講演会)</li> <li>&lt;平成24年5月24日(木)&gt;</li> <li>テーマ 「鎮痛・鎮静の最近の動向と薬剤の適正使用」</li> <li>講師 兵庫医科大学病院 ICU 西 信一</li> <li>兵庫医科大学病院 薬剤部 田中 邦佳</li> <li>※ビデオ補講5日間計10回</li> </ul>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手順書の作成 ((有) ・ 無)</li> <li>・ 業務の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 病院で用いる医薬品の採用・購入などに関する事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>採用医薬品の選定と見直し</li> <li>採用医薬品の安全性・取り間違い防止に関する検討</li> <li>採用医薬品情報の作成・提供</li> <li>医薬品の発注</li> <li>医薬品の入庫管理と伝票管理</li> </ul> </li> <li>2. 医薬品の管理に関する事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>医薬品棚の配置と医薬品の充填</li> <li>規制医薬品(麻薬、覚せい剤原料、向精神薬(第1種、第2種)、毒薬)</li> <li>病棟・各部門への医薬品の供給</li> <li>病棟等の配置医薬品の管理</li> <li>医薬品の品質管理</li> <li>処置薬の管理</li> <li>救急カートの医薬品管理</li> <li>輸血用血液製剤の保管・管理</li> <li>放射性医薬品・危険物の管理</li> </ul> </li> <li>3. 患者に対する医薬品の投薬指示から調剤に関する事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>患者情報の内容および収集・管理、活用について</li> <li>入院時の使用医薬品の確認</li> <li>医薬品の使用に関する指示出しと指示受け</li> <li>処方せんの取り扱い</li> <li>特に安全管理が必要な医薬品の処方</li> <li>病棟における処方変更時の対応</li> <li>処方せんの点検</li> <li>調剤</li> <li>院外処方せんの取り扱い</li> </ul> </li> <li>4. 患者に対する与薬や服薬指導に関する事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>投与</li> </ul> </li> </ol> </li> </ul>	

服薬指導  
投与後の経過観察  
医薬品使用による患者容態急変時の応援体制  
副作用発現時の対応

5. 医薬品の安全使用に係る情報の取扱いに関する事項

医薬品情報の収集・管理  
医薬品情報の提供  
薬剤部における副作用情報の収集と提供  
ヒヤリハット事例・インシデント事例の周知  
各部門、各職種からの問い合わせに対する体制整備  
患者への薬剤情報提供及び問い合わせに対する対応

6. 他施設との連携に関する事項

他施設からの問い合わせ等に関する体制整備  
院外処方せんの発行に関する事項  
緊急連絡のための体制整備

④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

- 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無)  
病棟担当薬剤師から副作用情報の収集  
プレアボイド報告の収集  
医療安全全国共同行動への参加 (危険薬の誤投与防止)  
調剤システム更新に伴う処方箋・薬袋印字の改善への取り組み  
術前・検査前に休薬を要する薬剤一覧表の改訂
- その他の改善のための方策の主な内容：  
定期的な医薬品の整理 (平成24年度は71品目の削除)

### 医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有 ・ 無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 98 回
・ 研修の主な内容：  以下の機器の取り扱い方法・安全対策について研修を行った  人工呼吸器・血液浄化装置・除細動器・補助循環装置・保育器・輸液ポンプ・医療ガス・放射線機器 等	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・ 計画の作成 (有 ・ 無 )  ・ 保守点検の主な内容：  以下の装置に対しては定期点検を実施している  人工呼吸器・血液透析装置・血液浄化装置・補助循環装置・保育器・麻酔器・体外式ペースメーカー・輸液ポンプ・シリンジポンプ・除細動器・電気メス・ベッドサイドモニタ	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有 ・ 無 )  ・ その他の改善のための方策の主な内容：  ・ 新品酸素ボンベが空になっている事例があり、酸素ボンベの包装形状の変更を行った。しかし、この変更でも空になることがあり得ると考え、酸素出口のキャップの形状も変更することにした。	